



J. FRONT RETAILING

2012年 1月16日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者  
 奥田 務  
 お問合せ先 経営計画事業統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

## 2011年12月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	12月度	9～12月度累計
百貨店業	3.0（3.7）	2.1（2.7）
スーパーマーケット業	▲6.6	▲6.4
卸売業	▲14.1	1.2
その他事業	7.9	▲3.2
連結合計	1.4	1.1

（注）百貨店業合計の（ ）内は博多大丸長崎店（2011年7月31日営業終了）を除く既存店ベース。

### 2. 売上高概況

#### 1) 百貨店業

- ・12月度の百貨店事業の売上高は、気温の低下にともない、コートをはじめ手袋・マフラーなど冬物衣料雑貨が婦人・紳士ともに活発に動き、クリスマス商戦が好調であったラグジュアリーブランドも大幅に売上を伸ばしたほか、美術・時計など高額品も好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年4.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同3.7%増となった。なお大丸松坂屋百貨店、百貨店事業ともに9ヶ月連続で前年実績を上回った。

#### 2) スーパーマーケット業

- ・ピーコックストアは、改装効果が持続するニッケコルトンプラザ店や日本橋浜町店などが好調に推移したものの、首都圏における競争激化や閉鎖店舗（みさと店、片倉町店など計3店舗および1事業所）の影響などもあり、対前年▲6.6%減となった。地区別では、首都圏が対前年▲8.1%減、関西地区が同▲3.2%減、中部地区が同▲8.2%減であった。

#### 3) その他

- ・卸売業の大丸興業は、先月まで好調であった電子デバイスの反動減などにより対前年▲14.1%減となった。
- ・その他事業は、J.フロント建装、JFRカード、ディンプルなどが好調であった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2011年12月度 百貨店業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	12月度		9～12月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲2.4	▲3.1	▲4.7	▲7.8
大丸 梅田店	55.8	93.4	77.0	106.4
大丸 東京店	2.4	▲0.4	0.6	▲0.4
大丸 ららぽーと横浜店	8.6	-	10.2	-
大丸 浦和パルコ店	3.0	-	0.4	-
大丸 京都店	1.9	1.6	▲0.0	▲0.6
大丸 山科店	1.7	-	▲0.6	-
大丸 神戸店	1.4	▲0.1	▲1.2	▲2.0
大丸 新長田店	▲1.9	-	▲2.2	-
大丸 須磨店	1.5	-	▲1.6	-
大丸 芦屋店	▲0.8	-	▲0.5	-
大丸 札幌店	3.8	4.5	3.6	4.4
松坂屋 名古屋店	1.7	3.9	0.3	1.6
松坂屋 上野店	5.2	▲0.2	1.4	▲1.4
松坂屋 静岡店	▲0.4	8.1	▲1.4	10.1
松坂屋 銀座店	▲4.3	▲5.7	▲10.1	▲11.1
松坂屋 高槻店	2.4	8.3	0.7	6.8
松坂屋 豊田店	3.2	2.2	2.2	0.4
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>4.6</b>	<b>12.7</b>	<b>3.7</b>	<b>11.8</b>
博多大丸	▲3.3	▲7.4	▲4.7	▲5.8
下関大丸	▲0.2	▲5.0	▲2.7	▲7.2
高知大丸	0.9	3.5	▲1.3	▲0.3
<b>百貨店事業合計</b>	<b>3.7</b>	<b>-</b>	<b>2.7</b>	<b>-</b>

（注）博多大丸および百貨店事業合計の前年は、博多大丸長崎店（2011年7月31日営業終了）を除く。

前年に博多大丸長崎店を含めた12月度の博多大丸合計は対前年▲9.9%減、百貨店事業合計は同3.0%増。9～12月度累計は、博多大丸合計同▲11.3%減、百貨店事業合計同2.1%増。

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	12月度	9～12月度累計
紳士服・洋品	7.2	5.5
婦人服・洋品	8.9	4.6
子供服・洋品	10.6	7.3
その他の衣料品	▲2.8	▲2.0
衣料品計	8.1	4.6
身回品	8.8	5.6
化粧品	2.0	1.5
美術・宝飾・貴金属	5.5	8.2
その他雑貨	▲5.2	▲7.4
雑貨計	3.0	3.7
家具	▲4.1	▲5.0
家電	▲3.0	▲13.2
その他の家庭用品	2.1	6.7
家庭用品計	0.4	2.7
生鮮	▲3.6	▲2.6
菓子	3.2	3.0
惣菜	6.0	6.2
その他食料品	▲1.5	1.1
食料品計	0.7	1.9
食堂・喫茶	10.8	9.7
サービス	▲13.7	▲15.6
その他	12.0	3.1
合計	4.6	3.7

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品、紳士服・洋品ともに、コートをはじめ手袋・マフラーなど冬物衣料雑貨が活発に動き、クリスマス商戦が好調であったラグジュアリーブランドも大幅に売上を伸ばした。身回品は、流行のショートブーツやアクセサリなどがよく動いた。雑貨は、美術・時計などの高額品が好調を維持し、化粧品はクリスマス限定品が人気を集めた。食料品は増床効果が続く梅田店が牽引したほか、おせち料理やクリスマスケーキも前年を大きく上回った。